

【公開版】

日本原燃株式会社	
提出年月日	令和5年3月23日

第2回設工認申請書の不備について

本資料は、第2回設工認申請書の不備について、令和5年3月23日のパフォーマンス改善推進者WGで審議した資料を取りまとめたものである。

「第2回設工認申請書の不備について（CR1169356）」、「第2回設工認申請書（耐震計算書以外）の不備について（CR1173298）」の時系列、原因分析について

1. はじめに

令和4年12月26日に申請した第2回設工認申請書について多数の記載不備が確認されている。抽出された記載不備の事象について、関係者に対し事実確認、原因聞き取りした結果を踏まえ、時系列を整理のうえ、問題点について要因分析を実施し再発防止対策を策定した。

CRとしては2件となっているが、これは、当初、「第2回設工認申請書（耐震計算書以外）の不備について（CR1173298）」で不備を確認後、その後の同様事象調査により追加で確認された不備を纏めて「第2回設工認申請書の不備について（CR1169356）」と整理したことによるものとなる。

2. CR レベル

本CRは「CRレベルB」として再発防止対策を進める。これは、直ちに原子力安全に影響を及ぼすものではないものの、原子力設備の設計に係る資料に多数の記載不備が確認されており、原子力安全に影響を及ぼしかねないと判断したことによる。

3. 資料構成

（1）時系列

時系列は、以下の4つに分けて*作成し、それぞれで問題点を抽出した。

- ・機電耐震計算書
- ・仕様表・添付図面
- ・設定根拠説明書
- ・その他添付書類（建物耐震、強度、自然現象、健全性説明書）

*：記載不備に係る原因調査を開始したタイミング、記載不備があった設工認申請書作成開始時期から4つに分けたものとなる。最初に確認された記載不備が“機電耐震計算書”であったことから、先行して「機電耐震計算書」の時系列を作成した。その後確認された記載不備のうち、“仕様表・添付図面”、“設定根拠説明書”、“その他添付書類”は、申請書の作成時期の違いがあり、それぞれで異なる問題点が抽出される可能性を考慮し、時系列を分けて作成した。

（2）要因分析／再発防止対策

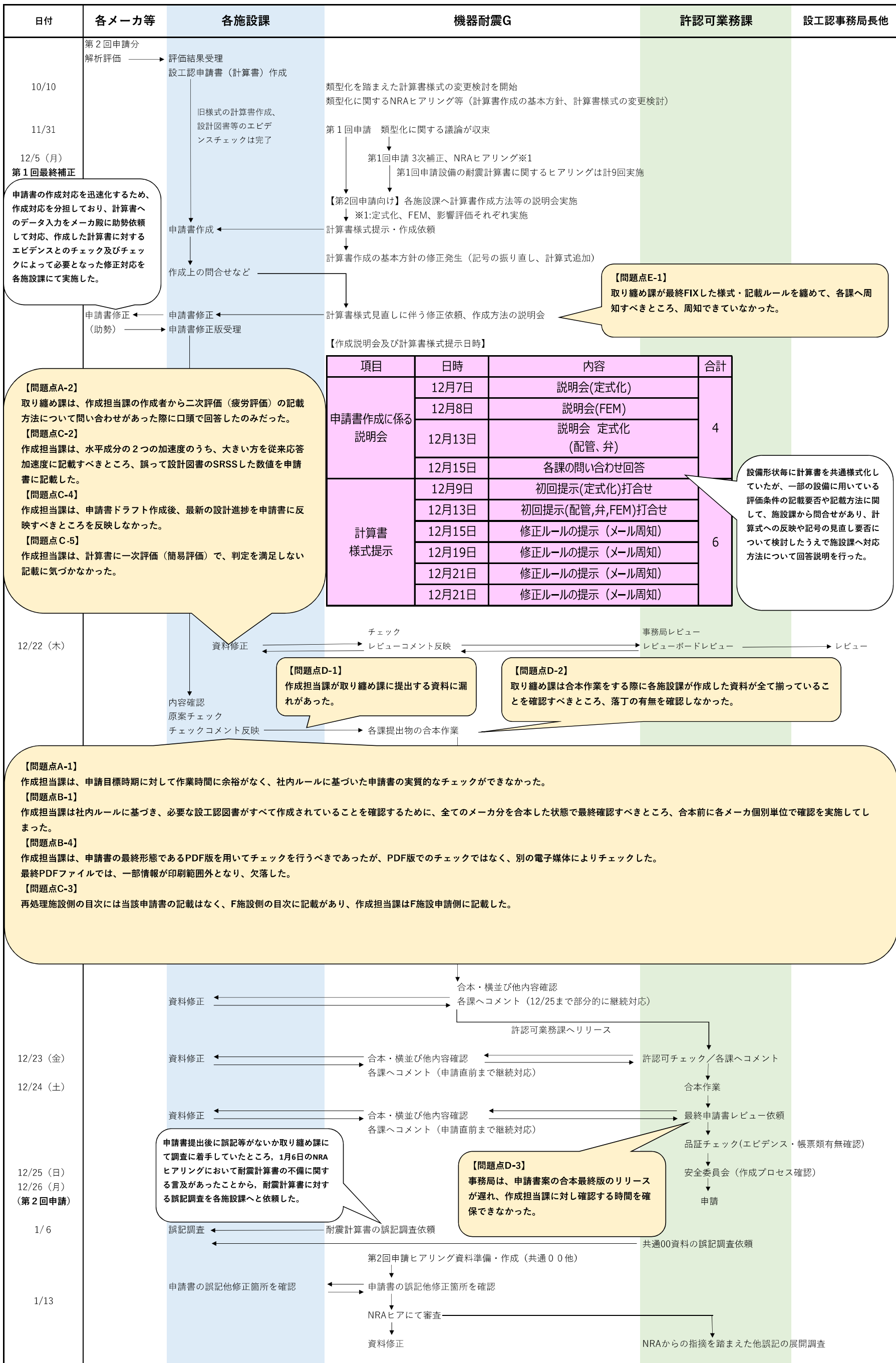
要因分析は今回の記載不備の事象を分類し、分類ごとに要因分析を実施している。時系列は4つに分けているが、共通的な要因が確認されると考えられたことから、まとめて一つの要因分析図としている。

加えて、第1回設工認申請審査においてNRAより指摘され当社として対応するとした事項について対応できていなかった部分があり、それが今回の不備事象へつながったと考えられた部分があり、そこについても、要因分析図へ加えて対策を検討した。

以上

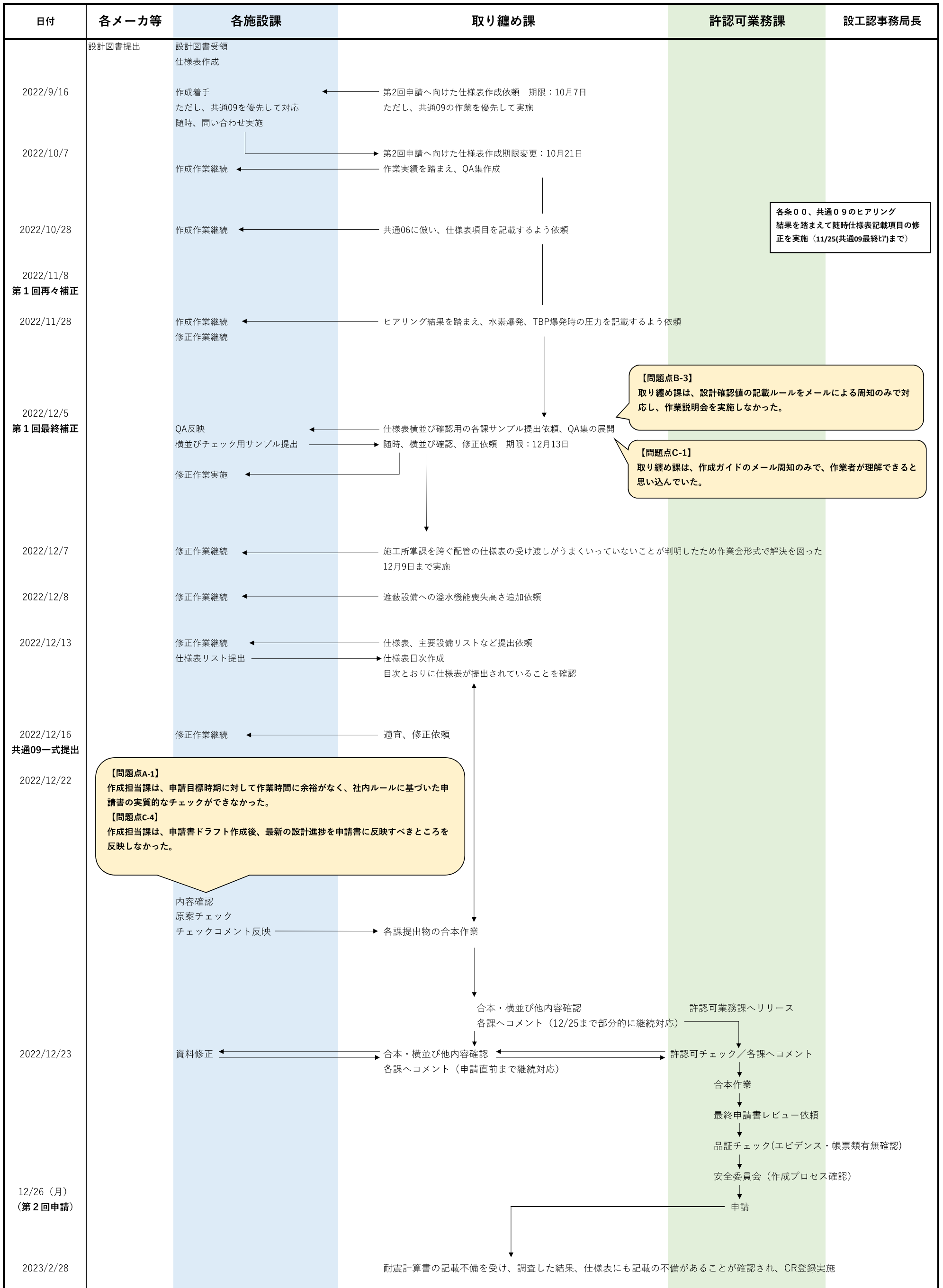
第2回設工認申請書の不備に係る時系列、問題点（添付書類（機電耐震））

パフォーマンス改善会議で決定予定



第2回設工認申請書の不備に係る時系列、問題点（仕様表、添付書類（図面））

パフォーマンス改善会議で決定予定



第2回設工認申請書の不備に係る時系列、問題点（添付書類（設定値根拠））

パフォーマンス改善会議で決定予定

